

H27優良実践校
今年度の取組

学校力向上 ここがポイント!



津山市立
津山東中学校

目指す学校「笑顔があり、元気な学校」の具現化に向けた取組



「生徒の取組」と「教職員の支援」による落ち着いた学校づくり

「生徒が企画する取組」

【生徒】生徒会本部、専門委員会、行事の実行委員会が主体的な取組を行う。

【教職員】生徒が活躍できる場面を多く設定し、教職員は陰で支援する。また、その活動を多くの生徒の前で評価し、さらに意欲を高めリーダーを育成する。



「靴そろえ」

【生徒】生徒会で「靴そろえコンテスト」を実施。自分たちが生活する環境を自分たちで整える。

【教職員】朝の会や帰りの会で呼びかけや評価を行う。空き時間に状況の確認を行う。



「無言入場」

【生徒】集会時の移動は無言で行い、全クラスが集合するまで静かに待つ。生徒会による「横断幕での呼び掛け」「無言入場コンテスト」を実施。

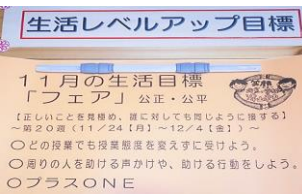
【教職員】担任以外にも通路に立ち、無言入場を見守る。学校全体で無言の雰囲気を作る。集会時に評価し、更に意識の高揚を図る。



「目標設定と振り返り」

【生徒】毎週、月別のテーマに沿った全校共通の週目標を確認し、個人目標も設定する。週末に目標の振り返りを行う。

【教職員】月別テーマに沿った全校共通の週目標を生活指導委員会で設定する。テーマや週目標に沿った生徒への共通の声かけを行う。



教職員と生徒の信頼関係

基盤となる
教職員の姿勢

「生徒へ寄り添い、関わり続ける」

生徒の可能性を信じ、力を引き出すよう全職員が学年に関係なく全生徒へ関わり続ける。